



院長  
伊藤 真理子  
プロフィール

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

真理子先生の  
**女性のミカタ**

**先天性風疹症候群**

風疹は風疹ウイルスが咽頭に感染してうつる病気です。

**厄介な無症状**

風疹は一般には「三日ばしか」とも呼ばれます。潜伏期間は2〜3週間。症状は発熱やリンパ節の腫れ、細かな発疹などのほか、稀に脳炎などを起こす場合もあります。逆に3割ほどの確率で全く症状が出ない方(不顕性感染)もいらっしゃいます。

**先天性風疹症候群**

恐ろしいのは、妊娠初期の女性が風疹に感染す

ると胎児もウイルスに感染し、赤ちゃんが「先天性風疹症候群」で生まれる可能性があることです。その症状は難聴、白内障、生まれつきの心臓病(心奇形)などです。

不顕性感染の場合、生まれてきた赤ちゃんに障害があることが分からず、対応の遅れが発達の障害を招いてしまうことが心配されます。

**ワクチン接種で予防**

風疹を予防するにはワクチン接種です。以前は1回の接種でしたが、現在は1歳児の時と小学校入学の1年前の2回接種です。2回接種となった

風疹を予防するにはワクチン接種です。以前は1回の接種でしたが、現在は1歳児の時と小学校入学の1年前の2回接種です。2回接種となった

25歳以下の世代はともかく、それより上の世代は男女により注意が必要です(左図参照)。

風疹ワクチン接種状況

	女性	男性
0~25歳 (1990.4.2以降生まれ)	2回個別接種	
25~27歳 (87.10.2~90.4.1生まれ)	幼児期に個別接種	
27~36歳 (79.4.2~87.10.1生まれ)	中学生時に個別接種	
36~53歳 (62.4.2生まれ~79.4.1生まれ)	中学校で集団接種	一度も受けていない
53歳~ (62.4.1以前生まれ)	一度も受けていない	

特に1962年4月1

日以前に生まれた男性は、子どものころに予防接種を受けていないので要注意です。

また79年4月2日〜87年10月1日生まれの男女は学校での集団接種ではなく、医療機関に出向い

での個別接種で、接種率が激減したとされる世代ですので御用心。

**無料検査や助成制度**

先天性風疹症候群は防げる病気です。山形市では主として妊娠を希望する女性に対して無料抗体検査や予防接種への助成を行っています。お住まいの各市町村にお問い合わせ下さい。

**山形市の風疹の無料抗体検査と予防注射助成**

対象者:山形市に住居票がある方

- ①妊娠希望のある女性  
(昭和40年4月2日~平成7年4月1日生まれ)
- ②①の対象者で抗体が低い方の夫及び同居家族
- ③風疹抗体価の不十分な妊婦の夫及び同居家族

